

Workshop #1 石川竜一 ポートフォリオレビュー 参加者の方々が持ち寄ったポートフォリオを、石川さんととも に見る会が開催されました。秋田市や盛岡市を拠点に活躍す るプロカメラマン、美大生、お店を紹介するツールとして日頃 5写真に親しむ経営者らが参加し、撮影の際の悩みや、よ らしい写真を撮るポイントなどについて話をしました。

会場:当館2階スタジオA2



mprovisation #2 石川竜一 + 吉濱翔 パフォーマンス サウンドアーティスト吉濱翔さんの音楽と、石川さんの身体パ フォーマンスのセッションが秋田市旭南の旧松倉家住宅で行 われました。蝉の声や秋田竿燈まつりの練習をする祭囃子と 吉濱さんのサウンドシステムによる電子音楽が偶然にも混じり 合い、一夜限りの特別なイベントとなりました。

日時:2024年7月26日(金) 会場:旧松倉家住宅 主催: Keep Cities Wild

•12月29日-1月3日

お問合せ Tel: 018-893-5656 Fax: 018-893-5659 e-mail: info@akitacc.jp 公式ウェブサイト https://akitacc.jp

7号 2024年9月

●アクセス: JR 秋田駅西口から徒歩約10分●駐車場はありませんので近隣の有料駐車場をご利用ください



こえる辛抱強さに由来するものなのかもしれない。 な土地によって育まれた、農業や林業の自然環境との調和の感性や、厳しい冬 受け継がれている精神性を想起するようなもので、夜の繁華街にいる人や、ビ 受け継がれている精神性を想起するようなもので、夜の繁華街にいる人や、ビ 受け継がれている精神性を想起するようなもので、夜の繁華街にいる人や、ビ で、表面上はけっして地味ではないのだが、やはりその穏やかな印象は、古くか に話しかけてみても、ほとんどの人は足を止めてくれて、写真に写ってくれ 街を歩いていると、人々から穏和な雰囲気が漂っているように感じた。道行く をいったく気にもしていなかった味噌の印象が強く記憶に残っている。 とりに面していて、気持ちがよく、人気店のようだった。友人が注文した定食にシャリの大きさに驚いたのだが、やばりそこでも味噌汁の味が普段沖縄で食いにシャリの大きさに驚いたのだが、やばりそこでも味噌汁の味が普段沖縄で食いたった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。そのお店は、古くからあるらしく、池のあった、別の混み合った店に入った。)たこの土地らしいもののように思えたのだ。 (現した作品を見せてもらったのだが、その作品が、自然との関わりの中で、現って弾けるような笑顔の表情を作った非日常の同人の、2つの姿を合わせた。雑然とした部屋の中に佇むありふれた日常の中の人と、何かしらの衣装は初日に行なったポートフォリオレビューでも、それと重なるようなことを 駅に到着すると、雨は上がって、湿ったアスファルトの匂いだけが残らきて、沖縄では一ヶ月以上前に明けた、梅雨のまとわりつく暑さを思い、盛岡と進むにつれて、車内では、大雨による災害のための運休の放立するにつれて、外を流れる景色は曇っていき、その視界に雨がかさな言籍の活字を目で追いながらウトウトと、たまに窓の外を眺めていた。3初めての秋田に向かう新幹線の中で、友人に勧められてダウンロード

て火傷する思いだった。 始者である土方巽の故郷のこの地で行なうパフォーマンスは、竿燈の下敷になだが、たまたま居合わせた、現役の踊り手である知念大地を目の前に、舞踏のだが、たまたま居合わせた、現役の踊り手である知念大地を目の前に、舞踏ので座り続けるパフォーマンスがあり、当時は沖縄で活動していた吉濱翔とセッの、何度かの機会のなかで、生まれた「生け花」という、ただ壺に指を突っ込の、何度かの機会の元を離れてからは、自発的に踊ることは多くはなかったもその後、その先生の元を離れてからは、自発的に踊ることは多くはなかったも -メージに、どうしても心地の悪さを感じてしまう。2.6きていると思うのだが、加えて、きれいといわれるものに付きまとう格がりがある。それは、一般的にいいと言われるものに対する自分自身の劣にかぶれていたように、僕は写真に於いても、きれいに撮るということに

る方法のように思えてならない。この、社会における経済活動のエネルギーとして、消費される対象に対して採らってはあるが、他方では、その、きれい、は、ほとんどの場合、個人の生存とはうことは、一方では、欲望や競争心を掻き立てて、その生存競争を活性化するうことは、一方では、欲望や競争心を掻き立てて、その生存競争を活性化する身や関係するあらゆるものを消費することによって、自らの命を別の命に置き身や関係するあらゆるものを消費することによって、自らの命を別の命に置き容姿を着飾るということは、生存戦略に関わる生物的な行動であって、その者容姿を着飾るということは、生存戦略に関わる生物的な行動であって、その者

写真によってなにが消費されるのだろうか。いくという世界のルールに則っているし、全く否定できることではないでるということは、物事を別のものとの組み合わせによって変換して、

、、差異を消費していることになる。に験によって想像することで、ボードリヤールの言うように意味を示す記号がける社会的な役割に当たる人格や、先天的な性格は、社会的な統計や見るいの対象自体では無い。別の世界を行き来するように、現実の一部分を断その対象自体では無い。別の世界を行き来するように、現実の一部分を断る写真化することによって消費しているのは、あくまでも対象の写真であ

時に別の方向へのインフレーションが起きていると考えることができる。ではないのではないだろうか。記録メディアの特徴として、物質的に別のものではないのではないだろうか。記録メディアの特徴として、物質的に別のもの変換することによって客観的視点を取得し、複製メディアの特徴として、置き変換することは、ブライアン・グリーンの言うエントロピックツーステップえたそのもの自体は限られた範囲の中で時間の制限を超えて繰り返すことがでった。ということは、ブライアン・グリーンの言うエントロピックツーステップを換することは、ブライアン・グリーンの言うエントロピックツーステップを換することができる。ということは、ブライアン・グリーンの情報として、複製メディアと同様に、経済活動の中でその機能の一部として、成長と密接に関わりなる物別の構造としてのカメラオブスクラはさて置き、写真機はその他の複製メ最初期の構造としてのカメラオブスクラはさて置き、写真機はその他の複製メ

や精神世界ですら、自然構造の内側にあると言える。こに働く力と同様に、自然構造に組み込まれた現象であるなら、都市も仮想ことで、空間には力が働いていて、その運動の様子を現象と呼び、人の精神注とした世界へ広がっている。物質であるということは空間を持っていると、物質世界は秩序立っているようでいて、それを構成する物理世界は無秩序が認識することのできるすべてのものは、自然界のプログラムによって成り、が認識することのできるすべてのものは、自然界のプログラムによって成り

では、 であることだろうか。そのものを受け入れ、肯定するこころのあい。 であり、その細部が写真によって立ち上がるとき、その肉体や器官、それらを形成する細胞から、思考や感情まで、人をかたちづくるものが、さらにその一般に自然構造を持った輪郭として立ち上がってくる。骨格や肌、身体の特徴の内側に自然構造を持った輪郭として立ち上がってくる。骨格や肌、身体の特徴の内側に自然構造を持った輪郭として立ち上がるとき、それは景色を見ることとも重なり、人は人の中に様々な世界を見ることができる。 こととも重なり、人は人の中に様々な世界を見ることができる。 こととも重なり、人は人の中に様々な世界を見ることができる。





km の ポ

デザイン:服部一成 榎本紗織 編集:熊谷新子

水瓶座 1月20日~2月18日

ジェフ・クーンズ 1月21日生

か、館内ですれ違うどの人の身体も伸びやかに感じる。

〈現代アート〉



〈アクションアート〉

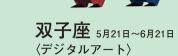
してみることをお勧めします。

牡羊座の表現者 レオナルド・ダ・ヴィンチ 4月15日生



ることができます。

牡牛座の表現者 サルバドール・ダリ 5月11日生



じて、内面の静けさと集中力を高め ては。ソーシャルメディアでのシェ を落ち着かせ、豊かさを引き出すで 開花する兆しが。ワークショップへ プへの参加も吉。 アやブログへの投稿も良いでしょう。 しょう。 双子座の表現者 ポール・ゴーギャン 6月7日生

「次にどんな表現活動をしたら良いか?」をテーマに、12星座占いをしました。

獅子座の表現者: アンディ・ウォーホル 8月6日生

の参加も良いです。



〈文学・執筆〉

直感に優れ、情熱を表すことが得意 着実に技術を身につけることができ スピード感があってコミュニケーシ 感受性豊かな蟹座には、写真を通じ 獅子座の人は、舞台の上で輝きます。 細部を大切にする乙女座には、詩や な牡羊座は、アクションペインティ る牡牛座には、粘土や石を使った彫 ョンが得意な双子座は、デジタルメ て情感を表現することを提案します。 地元の劇団に参加したり、演出やプ 小説、エッセイの執筆がおすすめ。 ングやパフォーマンスアートに挑戦 刻がぴったり。根気の要る作業を通 ディアを使ったアートに挑戦してみ 特に自然や身近な人々の写真が、心 ロデュースを手掛けることで才能が 読書会やライティングワークショッ 乙女座の表現者:

> 竹久夢二 9月16日生 ル・コルビュジエ 10月6日生



天秤座 9月23日~10月23日

天秤座の表現者

8mmFILM+Soundワークショップ

~昔の無音フィルム映像に音をつけてみよう!~

催しました。今回は「秋田8ミリフィルム・アンソロジー」を主宰像をセレクト。

夏休み真っ只中の8月5日。学生を対象とした、昔の無音フィルム 8ミリフィルム映像は、家族親

映像「8ミリフィルム」に音をつけて編集するワークショップを開 戚で餅つきをしている様子の映

する映画監督の石山友美さんとの協働企画。映画や映像作品の音づ 「餅をこねる音はどうやって作

くりに携わる臼井勝さんを講師としてお招きし、映像における録 ろうか?」など、メンバーでご

音・整音・音響効果についてのレクチャーやワークショップを実施 レコレ相談しながら、計画を立

蠍座の表現者:



射手座 11月23日~12月21日 〈旅行写真・ロードムービー〉

奈良美智 12月5日生

調和とバランスを重んじる今の天秤 内に情熱を秘めた蠍座には、映画や 自由を愛する射手座には、旅行をし 伝統と継続を大切にする山羊座に 革新を求める水瓶座は、現代アート 座は、音楽活動をしてみては。楽器の ビデオ制作を推奨します。独自の視 ながらの写真や映像撮影をお勧めし は、地域の歴史を記録し、保存する の分野で新たなトレンドを作ることが のある創作活動がおすすめです。感 演奏や歌、音楽プロジェクトへの参加 点を映像に落とし込んでいくことで、 ます。移動して知らない文化に触れ 活動が合っています。文化遺産や街 できるでしょう。実験的なアートプロ 性をフルに活かして、日常生活の傍 で、身体で調和を感じながら、新しい深い感情を表現することができ、精ることを通して、視野が広がり、心があみの保護に関わることで、地域社がジェクトに参加することで、自分の新ら創造的な作品を生み出すことがで 人との交流が広がっていくでしょう。 神的な開放感を得ることができそう。 が楽になっていきます。 射手座の表現者:

パブロ・ピカソ 10月25日生

蠍座 10月24日~11月22日

〈映画・映像制作〉



山羊座 12月22日~1月19日 〈歴史・街並み保存〉

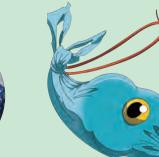
宮崎駿 1月5日生

会に貢献できるでしょう。 山羊座の表現者

水瓶座の表現者:

しが差している。

が聞きたくなる。



夢想力の高い魚座には、詩や物語性 しい可能性を探ることができますよ。きるでしょう。

魚座の表現者: 岡本太郎 2月26日生

PARK | いきるとつくるのにわ

栽培指導:ガイアガーデン(秋田市柳田 | 土づくりにこだわった野菜栽培を実践する農家)

当館の屋外デッキで、夏野菜のプランター栽培をしました。ゴーヤ、きゅうり、大玉トマト、 ミニトマト、長ナス、白ナス、ピーマン、とうがらし、オクラ、インゲン、さつまいも、枝豆、 空芯菜、いちじく、大葉、カモミール、バジル、ローズマリー。土づくり、グリーンカーテン の設置にはじまり、40名ほどが交代で、水やりや観察を行ないながら、収穫をしました。









PARK | いきるとつくるのにわ NOYさんとZINEづくりの「文化創造館の庭で夏野菜を育てよう」 ワークショップを終えて

フリーダ・カーロ 7月6日生

青・緑のインクが期間限定で追加された影響で利用者も増え、緩や

8月11日(日・祝)には当館主催「イラストレーターに聞く、イラスト レーターとつくる」というイベントが開かれた。ゲストには、東京都 原宿にあるリソグラフスタジオ [STUDIO LE MONDE] のスタッ フ、NOY(のい) さんを迎えた。NOYさんはイラストレーターとし て活動しながら、リソグラフオペレーターとしても勤務している。 イベントは座談会とワークショップの2部構成で実施され、後半の ワークショップでは10名の参加者と共にZINEを制作した。テーマ はシンプルに「夏」。4歳から50代までと幅広い年齢層の方々が集ま り、夏の思い出を書き起こした。

特に印象的だったのは高校生の参加者である。彼女は文化創造館 | 階の 「○ HAJIMARU」で期間限定で取り扱っていたNOYさんのグ ッズを購入し、その場でワークショップに申し込んでくださった。 「NOYさんの絵の世界観が素敵で、これは参加しなくちゃと思いま した」と話していただいた。

> 初めてのリソグラフ印刷ながら自分なりに調べてきた 彼女は、鉛筆や水性ペンなど複数の画材を持参し、オ リジナルのキャラクターや竿燈まつりのイラストを 作成。リソグラフはペンの質感も細かく再現できる ため、手書きだからこその表現がうまく出力されて _{日時:2024年8月11日(日・祝)}

年齢や生活範囲が異なる参加者たちが作ったZINE。 講師: NOY (イラストレーター・リソグラフォペレーター) 黙々と作業しながらも印刷の工程に入るとみんなが リソグラフの周りに集まり、どんな仕上がりになっ て出てくるのか覗き込むように見守る。その光景が なんだか面白い。出来上がったZINEも自分以外の個 人的な話や思い出が集まっていて手元にあるのが不

「その場で皆さんと描いて集めて作ったZINE、自分以 おもしろいですね。スタジオでもワークショップやろ うと思います!」とNOYさんもコメントしていた。 一冊の本を原稿制作から製本まで、他の誰かと一緒に 作る体験であるからこそ、共有できる言葉があるのか もしれないと感じた。

外の人が担当したページは意識領域外って感じがして 文化創造館にあるリソグラフ印刷機を使ってみませんか? オリジナルのZINEを作って発行したり、活動紹介の冊子や新 聞を作ったりなどなど。リソ特有の風合いで印刷物を作成して





会場:当館 2FスタジオA1

工作スペース

つくるために必要な素材やアイデア、道具が揃 工作スペース「ソウゾウカンラボ」がオープンし ました。いつでも誰でも利用可能です。自由に使 える素材の中には、地域の企業からご提供いただ いたものもあります。

果音がどのように作られているか、知っていますか?」

ったのか!と新しい感じ方を教えていただきました。

【いつでも自由に使えるもの (無料)】 素材:雑紙、布、 空き箱、木片など 文房具:ペン、ハサミ、カッターなど

会場: 当館1階コミュニティスペース 主催:秋田市文化創造館



てていきます。録音したい音、 最初に臼井さんのお仕事のお話。「みなさんは映画や映像作品の効 録音する環境などに応じて、マイクなどの機材を使い分けます。

映像には映っていないけれど聞こえているだろう環境音なども想像し、実際に街 実際に臼井さんが携わった映画を上映しながら、そこに流れる中に出かけて録音します。餅をつく効果音も、餅と杵がぶつかる「ペチャッ」と "音"を意識し、効果的な音の付け方や演出のポイントをうかがい いう音や、木と木がぶつかる鈍い「ドス」という音も混ぜ合わせ、さらに人の息 ます。効果音やBGMを加えることで様々な印象を演出できること 遣いや掛け声など多様な音が加わっていく度に、どんどん自然な映像になってい など、私たちが普段何気なく見ている映像の裏側にこんな世界があきました。

最後にみんなで完成した映像を鑑賞して終了。編集した映像は創造館のウェブサ レクチャーの後は、いよいよ実際に音をつくるワークショップです。 イトにて公開しています。

文:岩根裕子(当館スタッフ)

日時:2024年8月5日(月) 会場:当館スタジオA2 講師:臼井勝さん、石山友美さん 共催:秋田8ミリフィルム・アンソロジー 完成動画は 秋田市文化創造館

総合案内を訪れた方から施設利用の相談をいただいていっしょに悩む。 なにかをやろうという人にはたぶん引力がある。お話を聞いていると、私の霊性のよ

あたらしい風を吸って肩がやわらかになると胸がひらけるし、胸をひらくと誰かの話

まぶしくて起きる。ずいぶん日が出るのが早くなった。朝、ふきを摘んだ。

と、葉の色は生っぽく見えた。今日はふきを卓上に飾って開館する。

総合案内のデスクヘピッチャーを持ってきて摘んだふきを生ける。蛍光灯の元で見る

夏は日射から来るのだと思う。総合案内には、鮎のからだのように伸び縮みする日ざ

すこし息苦しく感じたので窓をほそく開けて風を通した。夏は身体を柔らかくするの

うなものがぐっと引き寄せられて、胸にゆるやかなさざなみが立つのを感じる。きっと 誰のこころにも海のようなものはあるのだろうけれど、決してあなたとわたしの中で連 続しない波のあわいに、我々はそれぞれに異なる存在であるということが、とても肯定 的に思える。それは、生き物が生まれて命が消えるまでの最も大きな宿題だと思う。

午後は明日の施設利用に向けた準備をしながら、人がただ居るということを考える。 いつでも明かりがある場所ということ。ここに明かりを灯し続ければ、十年、五十年 の月日の中で、いつか誰かの灯台みたいになったらいいなあと思う。そして、それは語 られなくてもいい。

夕方のスタジオは誰もいなくて、自分の歯が欠けたようにさびしい。だけれど、まち にこういう余地があるのもいいと思う。

風が冷たくなってきたので、朝開けた窓を閉じて今日は退勤する。

文:黒木美佑(当館スタッフ)

当館を拠点として、新しい活動に挑戦してみたいな…とそうぞうしている人・団体のために 毎月第1金曜日に『そうだん会(事前予約制)』を開いています。さまざまなバックグラウンドをもつ当館のコーディネーターと一緒に、そうぞう・創造・想像…を現実にするために必 要な「まず、はじめてみること」を探ってみましょう。明確なイメージがまだ掴めずにいる



方も大歓迎!まずはお気軽にご相談ください。



の

対談「地図と熊と美術館」

鴻池朋子(アーティスト) × 奥脇嵩大(青森県立美術館 学芸員)

子さんのつくる営みを紹介する個 展「メディシン・インフラ」(青森 県立美術館) に合わせて開催され たトークイベント。鴻池さんの来 館を待ちに待った100名を超える 参加者が、鴻池さんの創作の試み について、耳を傾けました。作品 や展示風景がスタジオA1の壁 いっぱいにスライド投影されまし た。「メディシン・インフラ」で展 示されていた指人形作品約80点 のうち、3体を、奥脇さんに、青森 会場: 当館2階スタジオA1 より連れてきていただきました。 主催:秋田市文化創造館





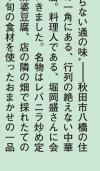
ニワさん





〒010-0973 秋田市八橋本町 5-6-1 TEL 018-824-1313 11:00 –14:00 水・日・祝休

記事全文は ウェブサイトにて



(「盛」料理人)



